

2022年度 授業シラバスの詳細内容

○基本情報			
科目名	社会福祉原論B（Principles of Social Welfare B）		
ナンバリングコード	E20904	大分類 / 難易度 科目分野	経営経済学科 専門科目 / 標準レベル 社会福祉
単位数	2	配当学年 / 開講期	3 年 / 後期
必修・選択区分	選択：経営経済学部 コース選択必修：情報メディア学科 情報コミュコース ※入学年度及び所属学科コースで異なる場合がありますので、学生便覧で必ず確認してください。		
授業コード	E022551	クラス名	-
担当教員名	岡江 晃児、河村 裕次		
履修上の注意、 履修条件	・本講義は、社会福祉士国家試験受験資格取得に必要な科目となっています。 ・講義では、 見ること、聞くこと、真剣に考えること、そして、自分の意見を持つことを心がけてください。 ・授業時の座席指定：なし ・毎講義開始時に授業プリントを配布します。講義を欠席した場合等は、研究室に取りに来てください。また、配布したプリントは、各自で保管をしてください。		
教科書	指定なし		
参考文献及び指定図書	精神保健福祉士・社会福祉士養成基礎セミナー『社会福祉原論』へるす出版 岩田正美ほか『社会福祉の原理と思想』有斐閣 武川正吾『福祉社会』有斐閣		
関連科目	高齢者福祉論，障害者福祉論，児童福祉論，地域福祉論，社会保障論，公的扶助論		

○基本情報		
授業の目的	福祉政策の理念・原理・歴史について理解を深め、福祉ニーズと資源の関係を考察し、現代社会にはどのような社会問題が福祉と関係してくるのかを考えます。 本授業を通して、福祉政策の構成要素、福祉政策と関連政策の関係について理解理解し(知識・理解)、福祉政策におけるニーズと資源について説明、相談援助活動と福祉政策との関係について説明することができる(技能・表現・コミュニケーション)、福祉制度の課題について考察することができる(思考・判断・創造)ようになることを目指します。 また、こども・福祉マネジメントコースが養成する人材像のうち、「地域共生のために必要な知識」について、社会福祉に関する法制度のあり方について考えていきます。	
授業の概要	「社会福祉士及び介護福祉士法」の改正に伴って、従来の「社会福祉原論」に代わって、新たに「現代社会と福祉」という科目が設けられました。科目名こそ従来のままだとはいえ、本科目は「現代社会と福祉」のシラバスにしたがって行われます。「現代社会と福祉」は社会政策、とりわけ福祉政策の原理的問題に重きが置かれています。従来よりも理論的色彩の濃いものとなっています。また貧困、社会的孤立、自殺、虐待などといった社会問題と福祉政策がどのようにかわるのかについて、深い理解が求められています。日頃から社会問題について強い関心を懐くことが必要です。	
授業の運営方法	(1) 授業の形式	「講義形式」
	(2) 複数担当の場合の方式	「該当しない」
	(3) アクティブ・ラーニング	「該当なし」
地域志向科目	カテゴリー Ⅲ：地域における課題解決に必要な知識を修得する科目	
実務経験のある教員による授業科目	該当なし	

○成績評価の指標		○成績評価基準(合計100点)		
到達目標の観点	到達目標	テスト (期末試験・中間確	提出物 (レポート・作品等)	無形成果 (発表・その他)
【関心・意欲・態度】	f福祉制度を取り巻く現状と課題について関心を示すことができる。		20点	
【知識・理解】	福祉政策の構成要素を理解している。 福祉政策と関連政策の関係について理解している	40点	10点	
【技能・表現・コミュニケーション】	福祉政策におけるニーズと資源について説明することができる。 相談援助活動と福祉政策との関係について説明することができる。		15点	
【思考・判断・創造】	福祉制度の課題について考察することができる。		15点	

○成績評価の補足(具体的な評価方法および期末試験・レポート等の学習成果・課題のフィードバック方法)	
定期試験及び毎講義のリアクションペーパー等をもとに総合的に判断します。 [Sレベル]単位を修得するために達成すべき到達目標を満たしている。 [Aレベル]単位を修得するために達成すべき到達目標をほぼ満たしている。 [Bレベル]単位を修得するために達成すべき到達目標をかなり満たしている。 [Cレベル]単位を修得するために達成すべき到達目標を一部分満たしている。 ※リアクションペーパーの記述内容及び記載された質問等については、次回の講義時などに可能な限りコメントをします。	

○その他	
・進行状況や学修状況等により講義内容の追加や削除等変更をする場合があります。 ・講義内容についての質問・要望等は、講義終了後または研究室(メールも可)に来てください。 ・社会福祉士受験資格取得には、本科目及び「社会福祉原論A」(前期開講科目)の単位修得が必要となります。	

2022年度 授業シラバスの詳細内容

○授業計画		科 目 名	社会福祉原論B（Principles of Social Welfare B）	授業コード	E022551
		担当教員	岡江 晃児、河村 裕次		
学修内容					
1. オリエンテーション・社会福祉原論Aの振り返り 本講義の目的および到達目標等について説明します。 社会福祉原論Aの講義内容の振り返りを行います。					
予習		講義の目的等についてシラバスを確認する。			約2時間
復習		講義内容を踏まえ、リアクションペーパーを作成する			約2時間
2. 需要とニーズの概念 社会福祉におけるニーズの概念と、一般的に用いられる需要概念の違いについて整理するとともに、福祉ニーズの定義や内容、分類及び把握の方法等について説明します。					
予習		需要とニーズについて調べる			約2時間
復習		講義内容を踏まえ、リアクションペーパーを作成する			約2時間
3. 福祉政策の課題と国際比較 今日の社会福祉においては、自国の福祉政策だけではなく、グローバルスタンダードとしての福祉政策をも追及していくことが求められています。そのような中で先進国と新興国および途上国の福祉政策を見ていくことにより、国際社会における福祉政策の課題について考えていきます。					
予習		各国の福祉政策について調べる			約2時間
復習		講義内容を踏まえ、リアクションペーパーを作成する			約2時間
4. 福祉政策の論点 福祉政策の論点として、「パターナリズムと自己選択」、「参加とエンパワメント」、「ジェンダー」等を取り上げ、福祉が持つ諸問題とその展望について説明します。					
予習		ジェンダー、エンパワメント、パターナリズムについて調べる			約2時間
復習		講義内容を踏まえ、リアクションペーパーを作成する			約2時間
5. 福祉政策における政府の役割 福祉政策における政府の役割は、歴史的に大きく変化してきています。その変遷の様子をたどりながら、現在から将来に当たって政府が果たす役割について考えていきます。					
予習		福祉政策における政府の役割について調べる			約2時間
復習		講義内容を踏まえ、リアクションペーパーを作成する			約2時間
6. 福祉政策における市場の役割 今日の社会福祉では、少子高齢化や福祉ニーズの多様化、福祉財政の逼迫、規制緩和を受け、市場供給によるシルバーサービスなどの福祉産業が台頭してきています。シルバーサービスの定義と現状、今後の展開について考えていきます。					
予習		福祉政策における市場の役割について調べる			約2時間
復習		講義内容を踏まえ、リアクションペーパーを作成する			約2時間
7. 福祉政策における国民の役割 福祉増進ためには、国民の参加・参画が必須のもであり、わが国でのこれまでの国民の役割についてみていくことにより、今後の国民が果たしていくべき役割について考えていきます。					
予習		福祉政策における国民の役割について調べる			約2時間
復習		講義内容を踏まえ、リアクションペーパーを作成する			約2時間
8. 福祉政策の手法、政策決定過程と政策評価 政策がどのような手法をもって具体化され、その決定過程や評価がどのようにすすめられているのかについて、政策の手法を概観し、決定のプロセスと評価の方法について説明します。					
予習		福祉政策の手法と評価について調べる			約2時間
復習		講義内容を踏まえ、リアクションペーパーを作成する			約2時間

○授業計画		科 目 名	社会福祉原論B（Principles of Social Welfare B）	授業コード	E022551
		担当教員	岡江 晃児、河村 裕次		
学修内容					
9. 福祉供給部門					
社会福祉の資源供給機能に着目し、人々の社会的ニーズが充足されていく過程を、4つに類型化（公共部門、市場部門、ボランティア部門、インフォーマル部門）に分け、各部門の特徴や発展過程、介護サービス供給における部門別構成比の現状等について説明します。					
予習		福祉の供給主体について調べる			約2時間
復習		講義内容を踏まえ、リアクションペーパーを作成する			約2時間
10. 福祉供給過程					
福祉サービスが歴史的にどのように供給されてきたのかをもとに、供給過程の公私関係について説明します。					
予習		福祉の供給過程について調べる			約2時間
復習		講義内容を踏まえ、リアクションペーパーを作成する			約2時間
11. 福祉利用過程					
福祉サービスの利用方式として、①措置方式、②保育所方式、③介護保険方式、④自立支援給付方式を取り上げ、各利用方式の特徴について説明します。					
予習		福祉の利用過程について調べる			約2時間
復習		講義内容を踏まえ、リアクションペーパーを作成する			約2時間
12. 福祉政策と教育政策					
福祉と教育がどのような場面でつながっているのかについて、福祉教育や特別支援学校の取り組みをもとに考えていきます。					
予習		教育政策について調べる			約2時間
復習		講義内容を踏まえ、リアクションペーパーを作成する			約2時間
13. 福祉政策と住宅政策					
人々が地域社会で質の高い生活を送るためには、住環境の整備が必要不可欠です。厚生労働や国土交通省において展開されている政策をもとに、住環境整備の現状と課題について考えていきます。					
予習		福祉政策について調べる			約2時間
復習		講義内容を踏まえ、リアクションペーパーを作成する			約2時間
14. 福祉政策と労働政策					
労働政策の編成によって、福祉政策の目的や内容が変化をもとに、労働政策の現状と課題について考えていきます。					
予習		労働政策について調べる			約2時間
復習		講義内容を踏まえ、リアクションペーパーを作成する			約2時間
15. 相談援助活動と福祉政策の関係					
福祉供給の政策過程がどのように実施過程に結びついているのか、福祉供給部門における相談援助活動の果たす役割について説明します。					
予習		相談援助と福祉政策の関連について自分なりの考えをまとめる			約2時間
復習		講義内容を踏まえ、リアクションペーパーを作成する			約2時間
16. 期末試験					
期末試験の詳細は第15週目にお伝えします。					
予習					
復習					